

患者さんと中央市民病院をつなぐ情報誌

SHIOKAZE Magazine

し / お / か / ぜ / 通 / 信

Vol.
57

2024
SUMMER



P1-4 部長就任のごあいさつ

P5 救急10年連続1位

P6 救命救急センター・
救急部部長あいさつ

P7 千里メディカルラリー3位入賞

P8 能登半島地震において

P9 アルツハイマー型認知症治療薬
レカネマブ診療の流れ

P10 かかりつけ医を持ちましょう

P11 ご寄付のお願い

患者さんに寄り添った 真の低侵襲医療を目指す



呼吸器外科

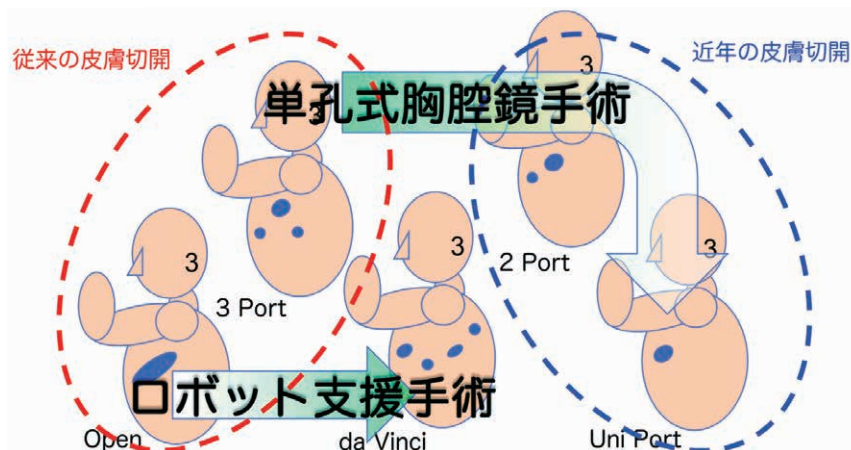
浜川博司先生

はまかわ ひろし

2009年4月より、呼吸器外科医として勤務している浜川博司と申します。前任の高橋豊副院長の定年勇退により、2024年4月1日付で部長職を拝命しました。神戸赴任以前は、京都大学医学部大学院にて肺の臓器冷保存に関する研究技術を学んだ後、アメリカBoston大学生体工学・理論物理学者の“Bela Suki”教授の元で、大学院生に動物実験を教えておりました。

当院は「断らない救急」の理念を掲げ、10年以上、日本一位の救急体制を堅持しており、私の外科医としての理想も患者様の立ち位置から見た真に低侵襲で入院期間の短い外科治療を追求しています。肺がん手術でも、従来の複数の傷で行う手術より、傷が小さい単孔式胸腔鏡手術を実行可能で、450例を超える単孔式胸腔鏡肺手術を既に実施し、従来の多孔式に比べ単孔式手術では、 5.19 ± 2.89 から 3.88 ± 1.52 日 ($p < 0.001$) へと、術後在院日数を更に1.31日短縮できています。また、昨秋からロボット支援手術を熟す山田徹医長が着任し、最先端医療も提供できる体制が整っています。

患者様には、十分に病状を理解いただき、其々の希望に沿う治療戦略を共に考えることが大切です。その他関連診療科とも連携し、より効果的かつ生活の質を維持するべく、診療にあたっています。単孔式胸腔鏡手術・ロボット支援手術手技等、治療アプローチに関する相談を含め、安心して受診していただける様、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



肺低侵襲手術の皮膚切開の変遷

最高の医療を提供し 地域医療の発展に貢献



頭
頸
部
外
科

菊
地

きくち

正
弘

まさひろ

先
生

このたび頭頸部外科部長に就任いたしました菊地正弘です。2001年から当院で研修を積み、約18年間様々な形でお世話になりました。神戸は私にとって第二の故郷であり、篠原尚吾前部長の後を継ぎ、部長としてこの職に就くことは大きな誇りであると同時に、重大な責任だと感じています。これまでの経験と知識を地域医療の発展に活かし、頭頸部癌治療のみならず鼻科診療にも注力しながら、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供していく所存です。

私の強みは耳科学・鼻科学・頭蓋底外科学の視点を持った頭頸部癌診療を行えることです。その強みを活かし、聴器癌・鼻副鼻腔癌・前頭蓋底悪性腫瘍といった希少癌に対し安全かつ確実な手術を行いたいと考えています。難度の高い経鼻内視鏡手術に取り組み、全国から鼻副鼻腔癌や前頭蓋底悪性腫瘍の症例を集める拠点となることを目標としています。頭頸部癌の診療には、耳鼻咽喉科頭頸部外科に加え、多様な専門家からなるチーム医療が不可欠です。最高のチームを作り、多くの患者さんに最高の医療を提供することを目指します。

また、若手医師の教育にも力を入れ、未来の医療を担う医師が最適な治療を提供できるよう、学術活動を含めた教育にも注力します。皆様の健康と幸福のために尽力いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。



頭頸部外科・耳鼻咽喉科

難治性の症例にも対応 よりよい治療の提供を目標に



血液内科

近藤

こんどう

忠一

ただかず

先生

2024年4月1日付で、血液内科の部長を拝命致しました近藤忠一です。京都生まれ、京都市の生粋の京都人で、1993年京都大学を卒業し、内科研修終了後、1996年より京都大学医学部附属病院にて長らく白血病の基礎研究、血液疾患の臨床、教育に携わってきました。造血幹細胞移植を主に専門として臨床、研究を行い、2022年より当院に異動となり、引き続き当院で診療できることを光栄に思います。

血液内科は、溶血性貧血、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病等の良性血液疾患と、急性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等の造血器悪性腫瘍を担当します。当院は救命救急センターであり、重症再生不良性貧血や血栓性血小板減少性紫斑病など迅速診断と速やかな専門的治療を要する稀少血液疾患患者が、兵庫県全域から紹介されてきます。本院の「断らない救急」の理念に沿って、迅速に対応します。

近年、造血器腫瘍の治療に多くの分子標的薬剤が用いられるようになり、特に悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病に対してCAR-T療法という画期的な治療法が2019年に保険承認されました。他院からCAR-T療法を希望される症例も積極的に当院で治療を致します。

より良い治療を安心して受けていただけるよう、医局員一同、力を合わせて診療させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



CAR-T療法

人と人とのつながりを大切に 新しい時代の医療を目指して



呼吸器内科（部長代行）

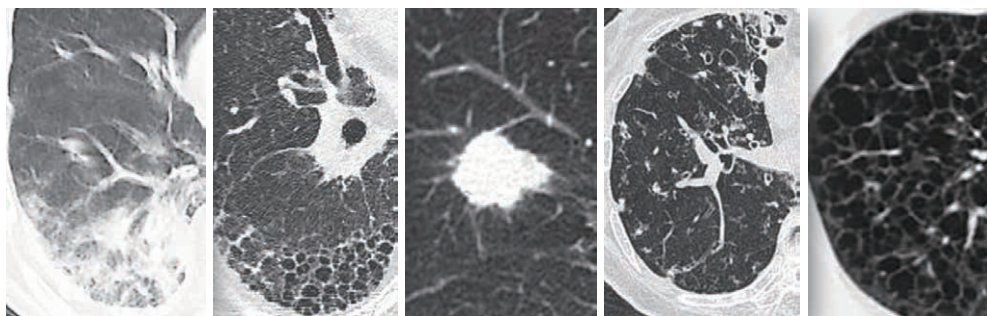
立川良先生

たちかわ りょう

2024年4月1日付で呼吸器内科部長代行を拝命いたしました立川良と申します。当院で初期研修を行った後に呼吸器内科を専門とし、大学院で研究に従事した4年間以外は、当院での臨床業務に尽力して参りました。私が医師になってからの20年間でも、医学の発展は目ざましく、まさに隔世の感があります。治療の細分化・個別化と同時に、それを支えるための職種の連携や施設の機能分化が進み、その比重は今後ますます高まることでしょう。

未曾有の高齢化社会の到来と日進月歩の医療変革の中に在って、医療者のアイデンティティーや働き方も、今また大きな改革の時にあります。一方で、医療構造の変化は、新型コロナ禍も経て、人と人とのつながりを希薄にするという負の側面も生み出しているように感じます。医療の本質—医療は疾患を治すのではなく、患者さんを助けるためにある—という当然のことを、今一度私たちは銘記しなければなりません。

当科はこれまで前々部長の石原享介先生、前部長の富井啓介先生など歴代部長のご指導の下、市民の皆様の健康を守る使命を果たして参りました。伝統と信頼を受け継ぎ、さらに新しい時代の医療への発展を目指して精進して参ります。引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あらゆる呼吸器疾患に対し、安心かつ先進的な診療をこれからも続けて参ります

祝 10年連続 救命救急センター 全国第1位

令和6年3月28日に厚生労働省から発表された「救命救急センターの評価結果(令和5年)」において当院の救命救急センターが、全国300の施設中第1位の評価を獲得いたしました。これにより、平成26年度から続く「救命救急センター全国第1位」の評価を10年連続でいただきました。

当院では「1年365日・24時間断らない救急医療」という理念のもと、安全で安心な医療の提供に努めております。また、兵庫県における「新型コロナウイルス感染症重症等特定病院」として同感染症の重症患者を受け入れるとともに、救急医療・高度医療の提供との両立を図ります。

地域医療機関と連携を図りながら神戸医療圏の中核病院として、また市民の**最後の砦**として役割を果たしてまいります。

NEWS

**令和5年
全国救命救急センター評価
結果**

神戸市立医療センター中央市民病院

10年連続 第1位
に選ばれました!

厚生労働省が発表した「救命救急センターの評価結果(令和5年)」において、当院は平成26年度から**10年連続第1位**に選ばれました。

<評価について>
救急医療体制基本問題検討会報告書(平成9年12月)における「既存の救命救急センターを再評価し、その機能を強化する」との提言等を踏まえ、平成11年度から救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施されています。
今回の評価は令和5年12月31日までに運営を開始した全国304ヶ所の救命救急センターを対象としています。

<評価内容>

- 1 重症患者の診療機能
- 2 地域の救急搬送・救急医療体制への支援機能
- 3 救急医療の教育機能
- 4 災害対策

4つの機能45項目について点数化し評価されています。



救命救急センター！ 救急部部长 どうあつて

救急部門だけではなく、当院全体の救急に対する取り組み方、システムが評価されています。すべての部門、診療科に感謝申し上げます。

当院は100点満点を獲得しておりますが、1点足りない99点の病院が6施設あり、その減点理由は

- 1…医師事務作業補助者が、常時、救命救急センターに専従で確保されていない。(4施設)
 - 2…緊急手術が必要な患者が搬送された際に、30分以内に手術ができ、かつ複数の緊急患者の手術ができる体制が整っていない。(1施設)
 - 3…外傷を疑う患者が搬送された時に、救急外来から診察を依頼された診療科が迅速に診療できる体制になっていない。(1施設)
- でした。

1は他の救命センターからどうすればこの1点が取れるのか問い合わせがきます。当院では、12年前からER救命士と称する病院救命士が医療補助事務員として勤務しています。タスクシフトのために救命救急センターのみならず二次救急病院、診療所もこれからは多くの病院救命士を雇用していくことでしょう。職員のBLS、ICLS講習でも中心的な役割を担っており、漸減傾向にあるER救命士の永続的な勤務体制整備に力を入れてまいります。

また、2・3はたとえ救命救急センターであっても迅速に緊急手術できる体制が、十分に整っていないことを示します。私たちは手術部門や関連する麻酔科、外科系の診療科と連携を深め、より迅速かつ効果的な対応ができるよう取り組んでいます。これにより、皆さまが安心して治療を受けられる環境を整えています。

最後に「断らない救急」を掲げコロナ禍前の2019年には10,393件の救急車受け入れ件数 99.1% (神戸市消防局) の応需率であった当院ですが、2023年のそれは7,719件92.4%でした。偉大なる現状維持を成し遂げながら。今後も、患者の皆さまの安全と健康を第一に考え、より良い医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

神戸市立医療センター中央市民病院 ありよし こういち
救命救急センター長 有吉 孝一



3位入賞

第20回千里メディカルラリー



2023年12月2日(土)に開催された第20回千里メディカルラリーに、当院からチーム“BE KOBE”が出場しました。昨年優勝というプレッシャーの中、見事に第3位という輝かしい成績をおさめました。

以下、出場された池田廉先生のコメントです。

「昨年度から引き続き、20th千里メディカルラリーに出場させていただきました。

今年は出場者全員が初参加且つ若手ばかりという中、20チーム中3位に入賞することができました！前年度優勝チームというプレッシャーの中で、連覇できなかったのは悔しかったですが、爪痕を残せて大満足です。今大会に挑むにあたり、救急科医師や看護師、並びに神戸消防の方々には多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。」



メディカルラリーとは、医療チームが特殊メイクを施した模擬患者を診察して、限られた時間内にどれくらいの確に診断と治療を実施することができるかを競う技能コンテストのことです。

具体的には、救命救急を専門とする医師、看護師、救急救命士がチームを組み、出動指令に従って指定された場所へ出動します。そして、そこにいる模擬患者さんに対して診察を行い、止血処置、人工呼吸、薬剤投与などの必要な処置を行います。その行為を横にいるジャッジが評価し、採点します。

このような実際の現場を再現したものをシナリオステーションと呼び、各チームはそのシナリオステーションを順番に回り、評価、採点が行われ、その総合得点で順位を競います。

能登半島地震において

派遣等の被災地支援

1月1日に発生した能登半島地震に際し、神戸市立医療センター中央市民病院は迅速に被災地の支援に動きました。まず、災害派遣医療チーム (DMAT※¹) のメンバーが1月10日から1月13日まで、被災地で医療支援活動を行いました。

活動の中心は、石川県立中央病院を拠点に、肺炎や心不全などの患者の搬送や転院調整を担いました。その後も、当院の看護師を災害支援ナース※²として派遣し、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師を派遣し、支援活動を継続しました。

被災地では依然として厳しい状況が続いていますが、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

※1 DMAT: 大地震及び航空機・列車事故といった災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム

※2 災害支援ナース: 被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職。都道府県看護協会に登録されている。



派遣期間	職種	派遣場所
1/10(水)～1/13(土)	DMAT(医師1人、看護師2人、業務調整員2人(臨床工学技士、事務職員))	金沢市内の臨時医療施設
1/15(月)～1/18(木)	看護師1人	石川県内の避難所等
1/16(火)～1/18(木)	看護師1人	石川県内の避難所等
1/18(木)～1/21(日)	看護師1人	石川県内の避難所等
1/21(日)～1/24(水)	看護師1人	石川県内の避難所等
1/22(月)～1/26(金)	薬剤師1名	穴水町保健センターを拠点とした活動
1/27(土)～1/30(火)	看護師1名	石川県内の避難所等
1/30(火)～2/2(金)	看護師1名	石川県内の避難所等
1/30(火)～2/3(土)	薬剤師1名	穴水町保健センターを拠点とした活動
2/13(火)～2/16(金)	理学療法士1名	金沢市のいしかわ総合スポーツセンター等の避難所
2/19(月)～2/22(木)	臨床検査技師1名	公立穴水総合病院
3/5(火)～3/8(金)	理学療法士1名	珠洲市内の避難所
3/27(水)～3/30(土)	理学療法士1名	珠洲市内の避難所

派遣実績(5月8日時点)

レカネマブ診療の流れ

アルツハイマー型認知症治療薬

ご存じの方もおられると思いますが、令和5年12月末にアルツハイマー病治療薬レカネマブ（商品名レケンビ）が発売されました。アルツハイマー病は脳の神経細胞の数が徐々に減っていく病気で、アミロイドβとタウと呼ばれる異常なたんぱく質が蓄積します。レカネマブはこの中のアミロイドβを脳内から除去する薬剤で、2週間に1回の点滴を1年半継続しますが、この薬を使用するためには定められた検査が必要です。簡単に当院での診療の流れをご説明しましょう。

① かかりつけ医より「レカネマブ外来」の紹介予約をとっていただきます。

② 高次脳機能検査

初回来院時に、医師、臨床心理士や言語聴覚療法士により1時間ほどかけて検査を行います。これは記憶障害の程度や日付や場所などの見当識、判断力などを調べるもので、必ずご家族も一緒に来て検査にご協力いただきます。アルツハイマー病は進行すると判断力や言語理解も低下しますが、初期のもの忘れは、加齢によるものと異なり、最近の出来事や体験したことそのものを忘れてしまい、ヒントを出しても思い出せないことが特徴です。レカネマブは症状が軽度の方にのみ投与が可能となっており、中等度以上の方には投与ができません。日常生活は自立しているけれども仕事や家庭で物忘れのためにちょっと困っているといった人が一番良い治療の適応となります。具体的にはMMSEやCDRという検査を行います。MMSE22点以上、CDR0.5～1.0の方が次のステップに進みます。

③ MRI検査と脳血流シンチグラフィー

アルツハイマー病では、蓄積したアミロイドβのために脳血管に炎症が起こっている場合があります。そのような場合にレカネマブを投与すると脳が腫れたり出血しやすい可能性があるため、MRI検査でチェックします。また脳血流シンチグラフィーはアルツハイマー病以外の認知症の鑑別に用います。

④ アミロイドPET検査

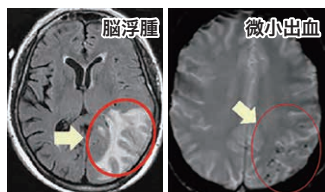
最後に脳へのアミロイドβ蓄積を証明するためのアミロイドPET検査を実施し、これが陽性となればレケンビの投与に進みます。

⑤ レケンビ投与

レケンビを開始してからも、定期的にMRIや高次脳機能検査を受けていただくため、1年半、頻回の通院が必要です。また年齢や収入により異なりますが、最低でも月8000円～18000円、3割負担で約6万円以上の医療費がかかります。投与中に脳の腫れや出血などの副作用が見られた場合は一旦投与を中断して様子を見ます。治療効果については、残念ながらこれで完全に治るわけではありませんが、症状の進行を約8か月分遅らせるとされています。ぎりぎり一人暮らしできている人が8か月ほど長く一人暮らしができるイメージです。

「アミロイド関連画像異常 (ARIA)」

レカネマブ投与により、脳浮腫や微小出血などの「アミロイド関連画像異常 (ARIA)」と呼ばれる副作用が生じることがあります。ほとんどは無症状ですが0.6～0.8%で重篤になることがあります。



このように、適応が細かく定められ検査も通院も多い治療となりますが、ご希望の方はまずかかりつけ医にご相談の上、当院レカネマブ外来を予約していただければ幸いです。ご不明な点がございましたら患者総合支援センター窓口までご相談下さい。

電話窓口：078-302-4321（代表）

かわもと みち
脳神経内科部長 川本 未知

かかりつけ医をもちましょう

中央市民病院の役割は？

中央市民病院は、地域の診療所や病院から紹介された急性期（病気やけがの発症から症状が安定するまでの期間）の患者さんや救急搬送された患者さんに対する治療や、高度医療による専門的な治療を担当する急性期病院です。神戸市の基幹病院として、急性期医療を必要とする患者さんが一人でも多くの治療を受けられるように努めています。

急性期の治療が終了したら

当院での急性期治療が終了して状態が安定されましたら、今後の治療や経過観察、お薬の処方などをお近くの医療機関（かかりつけ医）で受けていただくように主治医からお話をさせていただきます。当院でのこれまでの治療経過や処方内容など、主治医が診療情報提供書を作成し、検査データなどを添えて引継ぎをいたします。

かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、健康に関することや緊急時の対応など何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のことです。ホームドクターとも呼ばれ、日頃の診療や検査、お薬の処方などを行います。

地域の医療機関への紹介後は、かかりつけ医が患者さんの治療やお薬の処方を担当いたします。入院や高度な治療が必要と判断された場合は、かかりつけ医が紹介状を作成し、当院を含め適切な医療機関を紹介してくれます。

また、かかりつけ医への紹介後も、当院での経過観察が必要な患者さんにつきましては、かかりつけ医と連携して当院でも定期的に診察いたします。

かかりつけ医を紹介いたします

かかりつけ医をお持ちでない患者さんには、患者サポートセンターで看護師がお住いの近くにある医療機関を探すお手伝いをいたします。

このほかに患者サポートセンターでは、ご自宅での療養や介護保険サービスの利用、医療費のご相談等にも対応しています。また、入院中の患者さんの退院後の生活などについてのご心配ごとには、各病棟の退院支援担当者が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。



お問い合わせは裏面下部をご確認ください —▶

ご寄付のお願い

当院はこれからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたいと考えています。皆様にはご寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

きはら やすき
神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原 康樹

(令和5年12月～令和6年3月)

寄付をいただいた皆様

多くの励ましやご支援をありがとうございました。

寄付をいただきました方のお名前を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます。

武藤 實 様	八木 達志 様	柴田 大介 様	濱本 義信 様	小西 洋介 様	岡田 佐江野 様
北野 寛 様	石井 喬資 様	石井 敏子 様	巴山 六世 様	小林 フミ 様	赤坂 憲章 様
板廣 正夫 様	湊川 徹 様	蔵見 真紀 様	阿部 久美子 様	内海 馥子 様	奥村 裕子 様
石田 朋子 様	上野 千鶴 様	中村 淳子 様	小坂 富士男 様	坂口 承子 様	

株式会社 Bloomingjapan 代表取締役 田中 俊也 様
株式会社兵食 代表取締役 西村 恒一 様

朋の会 様
kinone 岡橋 由香里 様 (順不同掲載)

インターネットでのお申込みが可能になりました

インターネットでお申し込みの場合は、決済方法をクレジットカードまたは銀行振り込みいずれかでお選びいただけます。詳しくは当院ホームページまたは下記QRコードよりご確認ください。

■ 寄付受納書の発行について

寄付受納書は、口座への入金を確認後に発行させていただきます。クレジットカード決済をお申込みの場合、クレジットカード会社から当機構への入金を確認した日付以降となり、通常2～3か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用いただけるクレジットカード

右のマークがついているクレジットカードでお支払いいただけます。

※お支払い回数は、1回払いのみとなります。

※決済後のご変更・ご返金等は原則としてできません。



VISA



MASTER



JCB



AMERICAN EXPRESS



Diners Club

お問い合わせ

神戸市立医療センター中央市民病院
事務局経営企画課
〒650-0047
神戸市中央区港島南町2丁目1番地の1

T E L : 078-302-4321
F A X : 078-302-7537
E-mail : kifu@kcho.jp



寄付金で購入いたしました



ヘパフィルター



外来用の椅子



小児病棟のおもちゃ



地方独立行政法人 神戸市市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
KOBÉ CITY HOSPITAL ORGANIZATION

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1
TEL : 078-302-4321

<http://chuo.kcho.jp>

